

みんなのお便り



83歳の二宮町の住民の方から

実は二宮駅に行く度に思うので、それを申し上げたいと思います。

駅には上りエスカレータ、エレベーターなんでもありますが、外に出る(北口、南口)に下りの設備がありません。私ども多くの老人は足も悪く階段を一段一段を手すりにつかまり、下りるのは、それは大変なのです。

エレベーターでもなんでもよいからあれば何時も思いながら、階段を下りています。

これから何年先になるかわかりませんが、できましたらつくってほしいのです。むろん期待はできないと思いますが、希望を持っておりますので。

是非作ってくださいませよう、議会でお話しくださればうれしいです。

私たちの願いを少しでも実現していただければもっともって選挙に関心を持てるのではないのでしょうか。また、このような言い分は、まちがっているのでしょうか。

《編集補足》

二宮駅の北口と南口には各一機のエスカレータが設置され、時間帯によって上り下りが切り替えられています。

6:00~17:00上り 17:00~23:00下り

☆しお風協賛のお願い! ☆

地域コミュニケーション紙「しお風」や「walkwalk (ワクワク) マップ」は、みなさんの協賛で発行しています。一口500円から何口でも協賛願います。直接渡していただけるか、振込みでお願いいたします。

物語性のあるまちづくりを

「しお風」は、物語性のあるまちづくりを進められたらと思ひ、地域ブランドづくり「湘南♡風と星物語」に取り組んでいます。取材や二宮町内を歩いて巡り、生活風景を写真撮影しながら、二宮の魅力を感じ取り、walkwalk (ワクワク) マップやガイドブックを作成し、地域探検ツアーを開催しています。

今年度も湘南邸園文化祭や神奈川県相模湾アカデミー事業の一環として、次の事業を開催します。

☆walkwalk (ワクワク) 地域探検ツアー & 二宮の魅力発見ワークシヨップ
写真で表現 湘南の残したい資産 笑顔に出会える暮らし

☆地域探検ツアー

十一月二十八日(土)
午前九時三十分~午後二時

☆二宮の魅力発見ワークシヨップ

十一月五日(土)
午前十時~午後一時

写真家の川廷昌弘さん(日本写真家協会会員)を講師に迎え、写真撮影しながら巡るwalkwalk地域探検ツアーと二宮の魅力を発見するワークシヨップを開催します。

walkwalk地域探検ツアーは、ツアーガイドとともに、落花生工場見学、吾妻山とその周辺、海岸地域に残る自然や旧山川邸、教会、駄菓子屋等をめぐり、地元の人たちとふれあいながら、二宮の暮らしや人の魅力を発見する体験型ツアーです。

○参加費 五千円

(11月28日の会席弁当、12月5日の軽食代、資料代、講師謝礼等含む)

○問合せ・申込み 事務局「しお風」

歯科の知識 その28

歯科医の養成(その1)

教育経費の割には見返りが少ない、という風評が一般的になりますと、歯科医師養成機関への入学希望者が激減し、とくに私立歯科大学では定員確保に躍りになっていきます。学納金収入が直接経営に影響するので無理もありません。

入学希望者を集めるために各大学はあれこれ工夫を凝らしています。一般入試のほか推薦入試(指定校推薦を含む)やAO入試、学士入学、帰国子女卒などを設定しています。体験入学に類するオープンキャンパスなどで歯科に関する興味を喚起する努力もしています。

医歯薬系では、国家資格が必要ですから、その試験合格率の高さも受験校選択の大きな要因になります。ただし、本人の努力がなければ合格しないのは当然で、アメリカでは受験回数も制限されるといふ厳しさです。

医師、歯科医師、獣医師、薬剤師の教育年限は六年です。歯科医養成にかかる経費は次回に。

スズキデンタルクリニック

☎0463-3731-1531

発行定しお風39号 12月1日

晴れ、ときどき、天の川

第30話 変光星

平塚市博物館学芸員 澤村泰彦

星の明るさには、一等星、二等星……などというランクがあります。そしてこのランクは一定で、たとえば二等星の星が一等星に格上げになったりはしません。星はいつも一定の明るさで輝いているものなのです。お天気や空の状態によって、ふだんより暗く感じられたりすることはあっても、星同士のランクが入れ替わることはありません。もしもそのようなことが起きたら、星座をたどり解説する私の仕事はもっと難しくなるにちがいない(それはそれで楽しそうですが)。

ところが、そうした星の中にも

例外、つまり明るさを変える変わり者たちがいます。それを変光星と呼んでいます。

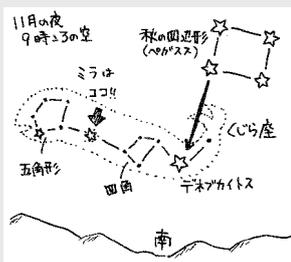
代表は、くじら座のミラと、ペルセウス座のアルゴルで、ともに秋の夜に見られる星です(ミラれるとしゃれたつもりではありません念のため)。

この両星は、明るさを変える理由が異なります。

まずアルゴルは、明るさの異なる二つの星が回りあう連星です。望遠鏡でもひとつにしか見えませんが、時に二つが重なり、暗い星が明るい星の手に重なる数時間、ふだんより一等くらい暗くなっ

ているのが、周囲の星とくらべるとわかるのです。

これに対しミラは、星自身が不安定に脈動し、明るさを変えてしまふ星です。変光の周期、光度変化の幅とも大きく、暗いときは肉眼では見えませんが、明るくなる二宮の空ならば楽に見えるようになります(明るくなったときの光度も不定です)。こんどは十一月に明るくなるので、ミラが見られるチャンスです(しゃれではありません絶対に)。



平塚市博物館 ☎0463-33-5111